

美原団地は5年で5棟も取り壊し

公共施設の老朽化が目立ち、道路、公園、公住、学校などで「長寿命化計画」をつくり、計画的な修繕で長く使い続ける取り組みが進んでいます。しかし、市営住宅は計画的な修繕をしつつ、古い住宅は積極的に取り壊す考えです。H29年の市営住宅の戸数は6619戸でしたが、これを10年間で1317戸減らそうとしているのです。

一番のターゲットにされたのが美原団地です。古いM1からM5までの5棟を、2023年から毎年1棟ずつ、代わりに住宅もつくらず壊します。減らす戸数は210戸にのぼります。

退去者のために、新しい鳥取団地がつくられました。がとも足りません。他の団地への住み替えも優先しますが、美原で新しい住宅をつくれれば何の問題もありません。市の意向調査でも、取り壊し予定の住宅に住む半分の世帯が美原に住み続けたいと希望しています。

先日、地域住民でつくる「美原市営住宅を考える会」が開かれました。

「建物の耐用年数は70年で、美原団地はまだ20年も残っているのに、壊すのはおかしい。」「新しい団地に移ると家賃が上がってしまう。」「一気に人口が減り、美原のコミュニティが維持できない。決して市営住宅だけの問題ではない。」「などの意見が出ています。近く「会」として、市と意見交換の場を持つ予定です。



新鳥取団地は今年5月入居 新規入居分として4戸募集



鳥取神社の筋向いに、新しい鳥取団地が完成しました。団地と言っても1棟40戸のみです。今年の5月から入居が始まりますが、美原団地などからの住み替えの人が大半です。それでも、新規入居分が4戸あるそうです。今年の市営住宅の募集の時に、新規の申し込みがあるのではないのでしょうか。

阿寒グリーン団地は戸数を減らし 建て替え、音別は...

音別では堤団地、光洋団地で合計142戸取り壊しますが、中間所得者向けの住宅8戸と川東団地に16戸を建設。(新)川東団地は堤団地からの住み替えが中心となります。

阿寒本町では、住んでいない団地の解体のほかに、グリーン団地で38戸を壊し、新たに26戸を建設する計画です。すでに入居者の意向調査も行われたようです。



老朽化が目立つグリーン団地

市営住宅の大幅削減にストップをかけよう!!

今すべきは、空き家を修繕して住んでもらうこと

近く取り壊す予定のため、入居させない「空き家」もありますが、修繕せずに放置している空き家もかなりあります。

市は低層階を希望する人が多いので、ストックとニーズが合わないといいますが...

- エレベーター付の棟160戸
- エレベーター無の1、2階に74戸

武佐の平屋分を除いて112戸が空き家です。(旧釧路市分のみ)

●毎年「空家修繕」として予算措置されるのは、住み替え分を除くと10戸に届きません。

市営住宅は住んでもらえれば家賃も入ります。家賃は修繕費に回せます。空けておいてよいことは何もありません。

1月31日号の「村上かずしげ通信」で、大楽毛北1丁目に遺骨の焼却施設!? との記事を載せましたが、その後、鶴居村の関係者から「売却話はことわったと役所から聞いた」との情報が寄せられました。まずはひと安心しました。

